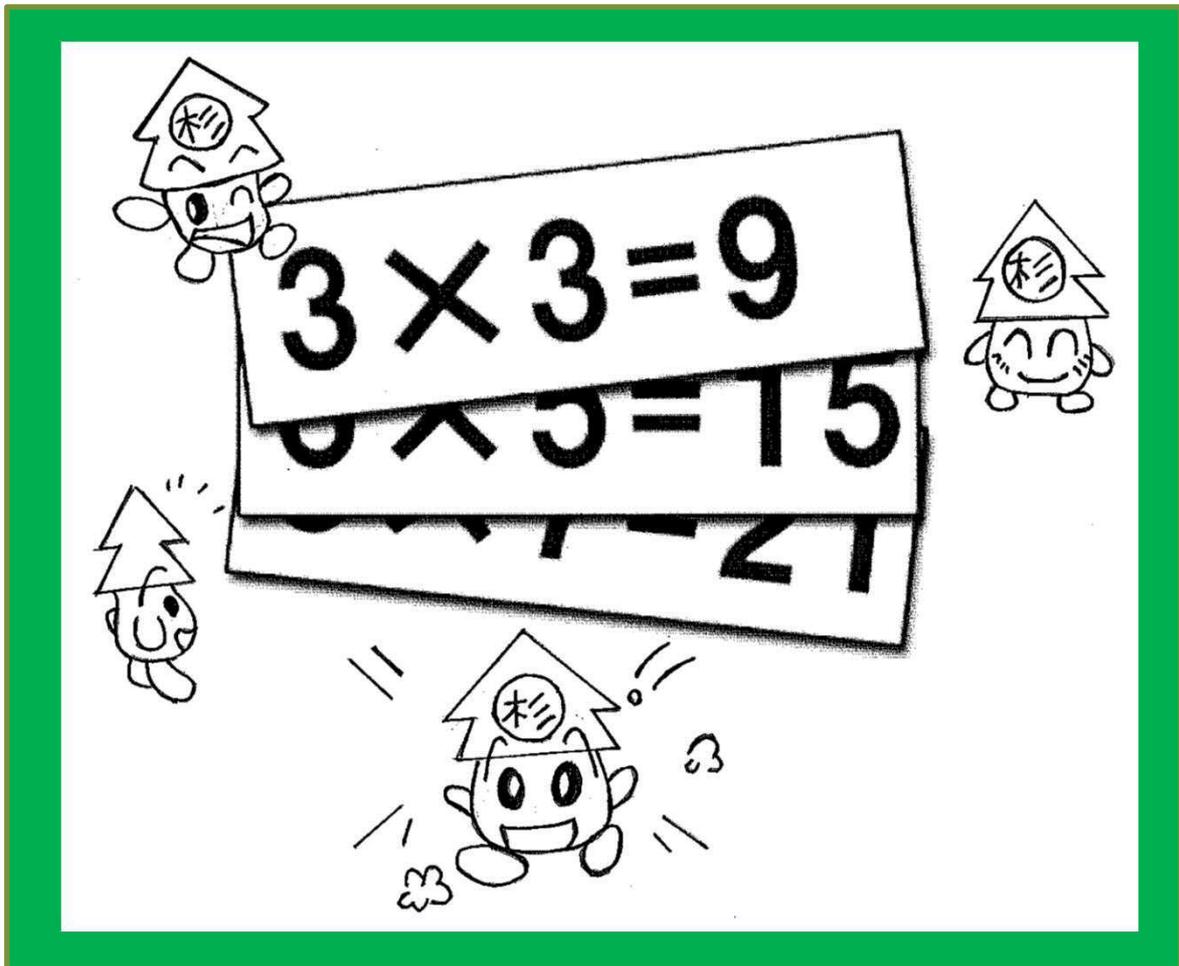


平成26年度

全国学力・学習状況調査の
結果について



海老名市立杉久保小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 6



全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で実施を中止）でしたが、昨年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）

国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

【中学校】

国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）

国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

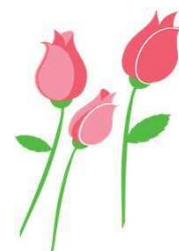
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成26年4月22日（火）



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○「漢字の読み」では、「標識」・「街灯」が良く読めている。「漢字の書き」では、「皿」が良く書けている。

○「話すこと・聞くこと」では、話し合いの記録の仕方として適切なものを選択することができ、話し合いの観点に基づいて情報を関係付けることができる。また、言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択でき、国語辞典を使って、言葉の意味と使い方が理解できている。

○「書くこと」では、仮定の表現として、適切なものを捉えることができ、文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する力がある。

《努力を要する所》

○「漢字の読み」では、「勢い」が読めていない児童がいる。「漢字の書き」では、「祝う」「予防」が書けていない児童がいる。

○「百聞は一見にしかず」の故事成語の意味と使い方を理解していない児童がいる。

○「読むこと」では、物語の登場人物の相互関係を捉えることができていない。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○「読むこと」では、2つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉えることができる。また、「付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く」問題で、付箋に書かれた内容を関係付けながら、最初に持った疑問を捉えることができる。

○「読むこと」では、疑問を解決するために、目次や索引から必要となるページの番号を書くことができる。

○「話すこと・聞くこと」では、司会の発言の内容をまとめて書くことができる。

《努力を要する所》

○「話すこと・聞くこと」では、「大野さんの発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く」という問題で、立場を明確にして、質問や意見を述べることができていない。

○「書くこと」「読むこと」では、「付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く」問題で、分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことができていない。

今後の具体的な取組

○「漢字の読み・書き」は、国語学習の基礎となるので、今後も漢字練習には、授業や家庭学習等で更に力を入れていく必要がある。

○「書くこと」では、A問題はほぼできているが、B問題は間違えた児童がいる。授業の中で書く学習を増やしていく必要がある。

○「読むこと」では、物語の読解に課題が見られたので、更に読書の習慣を身に付けさせたい。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○「数と計算」の問題は、ほぼ良くできている。特に小数計算(商が小数となる除数の計算)は、正答率が高い。

○「図形」の技能に当たる直方体の問題が良くできている。体積の単位と測定について理解していて、立体図形とその見取り図の辺や面のつながりや位置関係について理解している。

○「図形」の円周＝直径×3.14の問題は、公式を理解し、小数計算も間違いないできている。また、正五角形の1辺の長さとおよびの長さの関係についても理解している。

《努力を要する所》

○「数と計算」で「 $100 - 20 \times 4$ 」の問題は、誤答が多く、四則計算(加減乗除)の計算順序のルールをきちんと理解していない。

○「図形」の問題では、コンパスを使った平行四辺形の書き方で用いられる平行四辺形の特徴の理解度が良くない。作図に用いられる図形の約束や性質を理解していない。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○「数と計算」の問題では、示された場面から計算の結果の見通しを持ち、(2位数)×(1位数)の筆算が良くできている。

○「量と測定」の問題で「月の使用量が、プールに入れる水の量の何倍かを求める式と答え」の問題は良くできている。示された場面から基準量と比較量を捉えることができている。

○「2人のリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるか」の問題は記述式で答えを求めているが、良くできている。2人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述でき、「数学的な考え方」が身に付いてきていると判断できる。

《努力を要する所》

○「量と測定」で、「昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分にすればよいか」の問題ができていない。条件に合う時間を求めることができない。

○「数量関係」で「妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く」問題ができていない。数学的に理論立てて考え、記述することが苦手である。

今後の具体的な取組

○「数と計算」では、四則計算のルールが理解できていない児童がいる。「計算の規則」は確実に身に付けておくべきことなので、四則の混合した問題を多く練習していく必要がある。具体的には、授業や宿題等での計算問題の内容を精選する。また、練習量も増やしていく。

○「数学的な考え方」を伸ばすため、論理的な表現方法を指導する。

○「図形」の作図の問題は、各図形の定義・定理と結び付いていて、将来的には証明問題を解くための基礎となる。図形の授業では、その図形の約束や性質を理解させながら作図に取り組む必要がある。



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

○学級みんなで協力してやり遂げ、うれしかった経験をした児童の割合が、ある、どちらかといえ
ばあるを含めると98%と非常に高い。

○読書は好きですかという設問では、好き、ど
ちらかといえれば好き、を合わせると約82%と高く、県
や全国平均を上回っている。

○算数の問題では解き方がわからないとき、あき
らめずにいろいろな方法を考えますかという設問
では、考える、どちらかといえれば考えるを合わせ
ると約85%と県や全国平均より高い。

《課題と思われる所》

○国語の解答を文章で書く問題について、苦
手にしている児童の割合が県や全国平均より
高い。

○算数の問題で、言葉や数、式を使って、わけ
や求め方などを書く問題に対して、苦手として
いる児童の割合が県や全国平均より高い。

○国語や算数の調査問題で、解答時間が、足
りなかった、やや足りなかったと答えた児童の
割合が合わせて約25%と高い。

生活について

《よかった所》

○全体的に友だちと協力しながら、前向きに
学校生活を過ごしている児童の割合が高い。

○自分によいところがある、どちらかといえ
ばあると答えた児童の割合が約83%と自己肯定感
の高い児童が多い。

○学校の決まりを守っているかという設問では
守っている、どちらかといえれば守っていると答
えた児童は、合わせて100%で、県や全国平均を
上回っている。

○人の気持ちがわかる人間になりたいと答
えた児童の割合は、ある、どちらかといえ
ばあるを含めると99%で、県や全国平均より
高い。

《課題と思われる所》

○1日当たりのテレビやビデオ、テレビゲーム
等をする時間で、2時間以上の割合(特に4
時間以上)が高く、いずれも県や全国平均を
上回っている。

○ふだん(月～金)、1日当たりに携帯電話や
スマートフォンを使って、1時間以上の通話やメ
ール、インターネットをする児童の割合が約20
%と高く、県や全国平均を上回っている。

○学校が休みの日の家庭学習で、1日の学習
時間が1時間未満の割合が約50%と高い。

今後の具体的な取組

<学習面>

○日々の授業の中で、話し合い活動や調べ学習を多く取り入れ、自分の考えを文章に
してまとめたり、発表したりするなどの、言語活動を充実させていく。

○言語活動を充実させるために、今まで以上に読書活動を教育活動に取り入れる。

○家庭学習を充実させるために、学年の発達段階を踏まえ、系統的な学習のあり方を
検討する。その際、保護者の理解と協力を得るため、連携を十分図るようにする。

<生活面>

○携帯電話やスマートフォンの子どもへの与え方や使用の仕方について
学校でも指導を行うのはもちろんのこと、あらゆる機会をとおして
保護者に働きかけ一緒に研修を行うよう、努める。



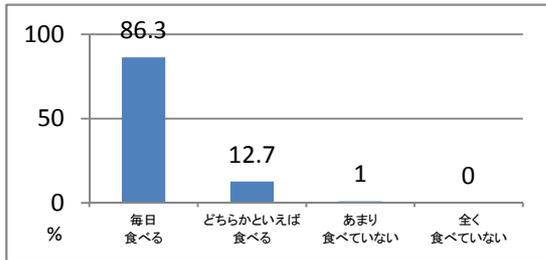
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 毎日、家で朝食をとりましょう。

就寝時間、起床時間を決め、しっかりと朝食をとって学校に登校させてください。

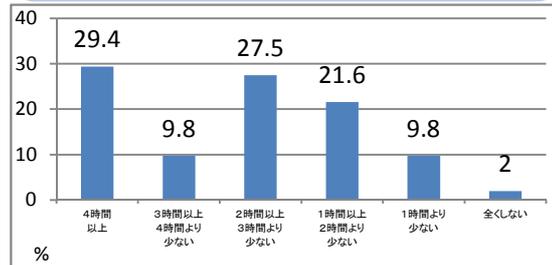
朝食を毎日食べていますか



2 テレビやビデオ・DVDなどは、時間を決めて見たり、聴いたりしましょう。

夜遅くまでテレビやビデオを見たりすることがないように、規律ある生活を心がけてください。

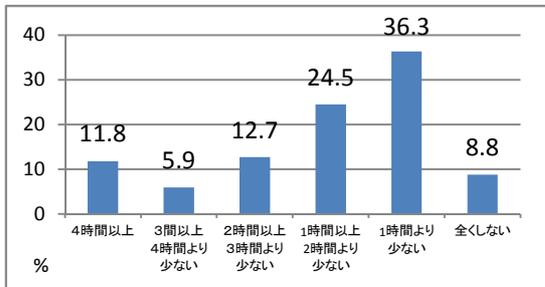
普段一日当たりどれぐらいの時間テレビやビデオなどを見たり聴いたりしますか



3 テレビゲームやコンピュータゲームなど、時間を決めてやりましょう。

家庭内でゲームをする時間を決めるなど、ルールを守るようにすることも大事です。

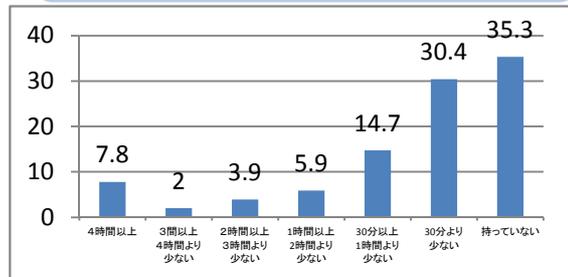
普段一日当たりどれぐらいの時間、テレビゲームなどをしますか



4 携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時のルールを家庭で決めましょう。

携帯電話やスマートフォンなど、安易に与えることがないように気を付けましょう。与える場合でも、必ずルールを決めましょう。

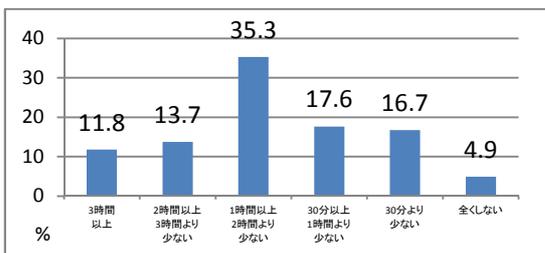
普段一日当たりどれぐらいの時間、携帯やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



5 毎日、家庭学習の時間を決めて勉強しましょう。

毎日の積み重ねが学習の定着につながります。無理のない家庭学習の時間を決めて、習慣化させましょう。

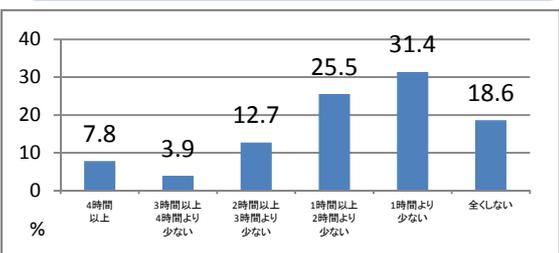
普段一日当たりどれぐらいの時間勉強していますか(学習塾含む)



6 学校が休みの日も、家庭学習の時間を決めて予習や復習などをしましょう。

宿題だけでなく、予習、復習、読書など、学年に応じて実践できるようにしましょう。

学校が休みの日に、一日当たりどれぐらい勉強しますか(学習塾含む)



資料

指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど)の維持徹底
- ・ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

【国語科・算数科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

児童の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
(教科に関する調査、児童質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・ 国語、算数に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・ 自分で計画立てて勉強をする
- ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

【基本的生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

「えびなっ子しあわせプラン」ってなあに？

「えびなっ子しあわせプラン」は今年度から平成28年度までの3年間の海老名市の教育プランです。

ひとりひとりの海老名の子どもが、将来、しあわせに生きるために必要な「3つの力」を小・中学校の義務教育9年間で、学校や家庭、地域の教育をとおして、確実に身につけることを目的としています。

◇◆しあわせに生きるために必要な「3つの力」◆◇

学 力

大人になっても学習をつづけるために
基礎的な学力と学習意欲を身につけよう！



.....
教員の授業力を高めます。（授業改善の取組）



.....
小中一貫教育を進めます。（試行校での研究）



.....
市費の教員やボランティアを配置します。

集団力

人間関係を作り、集団の中で自分の役割を果たし、
自分を生かす力を身につけよう！



.....
人間関係作りの学習計画を作成します。



.....
いじめや不登校の問題に積極的に取り組みます。

健康安全力

自分の健康や安全に気をつけて、
いつまでも楽しく生活する力を身につけよう！



.....
体力・運動能力の向上をめざします。



.....
自分の命を守るための学習計画を作成します。

学校と家庭と地域がスクラムを組んで子どもを支えます



みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

海老名市教育委員会



平成26年12月